

富士山が見える

野田から4か所が「関東の富士見100景」に まち野田

野田市は、利根川、江戸川、利根運河と、市の周囲全てが河川で囲まれた、全国的にもめずらしい地理的特徴があり、河川の堤防やその周囲では、富士山を眺望できるポイントが数多く存在しています。そこで市では、富士山の眺望を市内外にPRしようと、昨年国土交通省が募集した「関東の富士見100景」に応募したところ、市内の4か所が「野田市からの富士」1景として認定されました。本号では、認定された4か所の見どころを紹介します。



市役所からも美しい姿を眺望できます

静岡県、山梨県にまたがる富士山は海拔3千776メートルで、だれもが知る日本一高い山です。火口の直径は約800メートルで、宝永4（1707）年の噴火で中腹に「宝永山」ができて以降、火山活動は休止しています。
裾野を長く引いた美しい姿は、古くから親しまれ、万葉集、竹取物語などの文学をはじめ、葛飾北



斎（1760～1849）の「富士三十六景」、歌川広重（1797～1858）の「名所江戸百景」などの浮世絵でも広く紹介されてきました。

野田市からは富士山（山頂）まで直線距離で、約120キロメートルありますが、特に秋から冬にかけて空気の澄んだ早朝などには、市役所をはじめ、市内の各所から雪を被った美しい富士の姿を眺望することができます。

また、日没ごろには、大きな三角形のシルエットとして夕景に浮かび上がります。

市では、これらの美しい景観を市内外の皆さんに知っていただくとともに、地域の活性化に役立て

ていただければと、野田市からの富士山のビューポイント4か所を、昨年、国土交通省関東地方整備局が募集した「関東の富士見100景」に応募しました。

選考の結果、野田市から申請した「県立関宿城博物館付近」、「江戸川スーパー堤防上（堤台・座生地区）」、「玉葉橋付近の堤防」、「みずきの街（とんとんみずき橋、みずき小學校など）」から見える富士山が、「野田市からの富士」として100景の中の1景として認定されました。

本号では、それぞれのポイントの特色や見どころなどを、ビューポイントにゆかりのある皆さんに紹介していただきました。

【参考文献】「大辞林」三省堂



堤防上からの関宿城と富士山

『河川とそれにかかわる産業』をテーマに、平成7年11月オープンした千葉県立関宿城博物館は、かつての関宿城があった位置よりも北側にあります。3層4階の天守閣は、古い記録に基づいて忠実に再現したものだそうで、天守閣の最上階や博物館に隣接するにこにこ水辺公園から富士を望むことができます。

特に、天守閣と富士の組み合わせは、かつての城下町として歴史を有した関宿城と、自然が調和したポイントといえます。

●まめバス「(仮)関宿城博物館」下車約1分(平成17年4月運行開始予定)／朝日バス「境車庫行き」で「関宿城博物館」下車約1分

歴史と自然が調和した 絶景ポイント

① 県立関宿城博物館



関宿城と富士山(撮影荒井位さん・境町から)



にこにこ水辺公園から



教え子の様子を記録しようと始めた趣味の写真は、50年を過ぎるといふ荒井位さん。関宿城博物館と富士山は、博物館オープン当初から撮り続けているそうです。「対岸の境町からの撮影

絶好のポイントに

関宿城と富士山

ひがしありのや
東高野在住

荒井 位さん
なだし

ポイントは、絶好の位置にあります。今では、すっかり有名になりましたが、私たちが初めて行ったところは、カメラマンの姿は、それほど多くありませんでした」と振り返ります。

博物館主催の写真展「関宿城100景展」には、毎年花や夕日などを組み合わせて連続入選しているそうです。「富士100景を機に、また富士山と博物館を撮ってみたいですね」と話していました。



市内から転居してきて、3か月になる湯徳さんご夫妻は、「わざわざ外に出なくても、部屋や庭から富士山を見ることができるといいです。天気の良い休日には、ベランダにイスを置いてゆっくり

富士山を通じて

美しいまちづくりを

中野台在住

湯徳^{ゆとく} 和 夫さん
まごゑさん

り眺めています。友人は、緑に囲まれて、空気もおいしく、良いところだと、感激していました」と話します。

「富士山の見える公園も近くにあり、良い環境が整っていますから、今後は、地域の住民の力で、環境の美化に努めなければなりませんね。富士山の見える街をみんな誇りにしていきたいですね」と話してくれました。



堤台区画整理地内の公園では親子で遊ぶ姿も



江戸川の流れと富士の姿

自宅からも 望める富士

②江戸川スーパー堤防上 (堤台・座生地区)

野田橋の上流部に位置する堤台・座生区画整理地付近は、堤防幅が300メートルのスーパー堤防上にある地理的特長もあり、江戸川と富士山の組み合わせが楽しめます。

また、区画整理地内の住宅や公園からも富士山を望むことができ、時には、ジョギングや散歩の際に足を止めて富士山を眺める姿も見受けられます。まさに、日常の暮らしの中に富士山が見える場所です。

●まめバス「(仮)堤台向山」下車約10分(平成17年4月運行開始予定)



気象条件によっては初夏に見られることも(5月撮影)



玉葉橋付近から大きく裾野の広がる姿を望む

江戸川に架かる玉葉橋は、昭和 59 年、千葉県と埼玉県を結ぶ橋として、それぞれの県名から一文字ずつを取って名づけられました。

玉葉橋付近の堤防から富士山までは、途中で視界を遮るものがなく、富士山をきれいに撮影できるポイントとして、市外からも多くの写真愛好家が訪れる場所になっています。

車の交通量が少なくなるお正月は、澄んだ空気の中、特に美しい姿が見られるチャンスだそうです。

●まめバス「みずき通り」下車 10 分

裾野の広がる姿に 多くの写真愛好家も

③玉葉橋



玉葉橋と組み合わせて



風の強い日も撮影の条件のひとつ



退職後の趣味のひとつにしようと、写真をはじめたという坂伸二さんは、市報の記事を見て早朝の玉葉橋を訪れたといいます。「野田からの富士山を見に、足を運びました。美しく雄大な富士が

玉葉橋からの富士は 野田の自慢のひとつ

中根在住 坂伸二さん

見える場所は、野田の自慢のひとつになりますね」と話します。「写真をはじめたのも、旅先で見た富士の雄大さに惹かれたからで、年に数回山中湖で撮影しています。朝日や夕日に染まり始めた富士は、刻一刻と表情が変わり、見ているだけで、ストレスを解消してくれます。これから、玉葉橋にも機会のあるごとに訪れ、シャッターを押そうと考えています」と話していました。



散歩途中に「とんとんみずき橋」からも



全校児童が描く富士山を展示した「富士山展」(みずき小学校)



5年前に松戸市から引っ越してきたという青木治子さんは、「富士山が見えるということ、聞いてはいましたが、これほどよく見えるとは思いませんでした。親類が泊まりに来た翌朝は、

一緒に散歩をします。富士山が見えると、得をした気持ちになれるね、と言っています」と話します。また、わかさんの通うみずき小学校からの眺望もよく、富士山のスケッチを校内に飾りPRしているそうです。「今年は、河口湖近くの学校と富士山を通して交流をするという話も聞きます。子どもたちが新しい友達をつくり、いろいろな体験が出来るとうれしいですね」と結びました。

富士山を通じた 交流も楽しみ

みずき三丁目在住

青木

治 子さん
わかさん

山と橋の “日本一”の風景

④みずきの街

平成9年にまち開きした「みずきの街」は、田園風景と江戸川の堤防を前景として、富士山を望むことができます。

中でも、道路に架かる木造橋では日本最大級の面積を誇る「とんとんみずき橋」との組み合わせは、まさに『日本一』です。

また、平成15年4月に開校したみずき小学校からも、よく富士山を見ることができますが、同校では、毎年冬に全校児童が描いた富士山の展覧会を実施しています。

●まめバス「とんとんみずき橋」下車約1分



みずき小学校の校庭からも